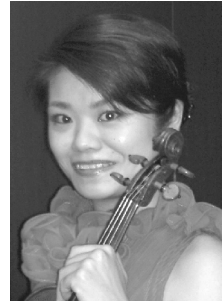




湘南邸園文化祭
Shonan Teien Festival
2006

グリーンハウスに響く、豊潤かつ優美な音色。
設計者レイモンドゆかりの作品から、シベリウス、
藤沢市出身の作曲家、柿沼唯の新作など、
ヴァイオリンとハープによる魅惑の調べと
楽しいトークをお届けします。



佐藤まどか ヴァイオリンコンサート

プログラム

- エルガー 「愛の挨拶」
Elgar Salut d'amour
- ドヴォルザーク 「ユーモレスク」
Dvorak Humor esque
- 「わが母の教え給いし歌」
Songs my mother taught
- マクスウェル 「引き潮」 **
Maxwell Ebttide
- イベール 「間奏曲」
Ibert Entr'acte
- ロッシーニ 「こんなに胸騒ぎが！」
Rossini LP alpiti
- 柿沼 唯 「幼子われらに生まれ」 *
Kakinuma Puer natus est nobis
- シベリウス 「子守唄」
Sibelius Lullaby
- 「レリジオーソ」
Religioso
- マスネ 「タイスの瞑想曲」
Massenet Thais Meditation
- ピアソラ 「リベルタンゴ」
Piazzola Libertango
- Violin solo * Harp solo ***



篠田恵里 ハープ

東京芸術大学付属高校、東京芸術大学卒、同大学院修士課程修了。大学卒業時、同声会新人演奏会に出演。これまでに堤祥作氏、篠崎史子氏に師事。

第1回日本ハーブコンクールアドバンス部門第2位、第2回福井ハーブ音楽賞コンクール最優秀賞、第13回日本ハーブコンクールプロフェッショナル部門第2位。第3回CoreTex賞受賞。

現在はソロ、室内楽、オーケストラの他、新作の初演、レコーディング、TV収録など多方面で演奏活動している。また、後進の指導にも積極的にあたっている。

2003~2005年、国立音楽大学付属高校非常勤講師。松尾楽器ハーブ講師、東京現代音楽アンサンブルCoreTexメンバー。

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学、同大学院修士課程を経て、博士後期課程修了。この間ロンドンへ留学。帰国後もイギリス、スイス、オーストリア、フィンランドにて研鑽を積む。井上薫、澤和樹、沼田園子、B.カトーナ、浦川宜也、G.ボッセ、宗倫匡の各氏に師事。

第7回ジャン・シベリウス国際ヴァイオリンコンクール第3位入賞をはじめとして、第44回ブラハの春国際音楽コンクールヴァイオリン部門特別賞受賞、第5回ヴァクラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール第位（最高位）入賞、第13回ロドルフォ・リビッツァー国際ヴァイオリンコンクール第4位（1位なし）入賞。

2005年、博士号（音楽）を取得。「Jean Sibelius 2つの協奏曲」と題されたシベリウスのヴァイオリン協奏曲の初稿、改訂稿の比較演奏は、オリジナル版の本邦初演として東京芸術大学音楽堂で芸大フィルハーモニアとの共演で行われ、絶賛される。

ソリストとしての活動を中心に、ウィーン・コンチェルトハウス、フィンランド・オウルンサロ音楽祭、シベリウス・イン・コルッポ音楽祭など、いずれも好評を博している。また、室内楽や数多くの現代作品にも意欲的に取り組むなど多彩な演奏活動を展開し、的確な洞察力と豊かな表現力は高い評価を受けている。

上野学園大学非常勤講師。
日本シベリウス協会理事。

2006年11月25日(土) 15:00開演

グリーンハウス (神奈川県立体育センター内)

小田急江ノ島線「善行」徒歩7分 神奈川県藤沢市善行7-1-2

主催：藤沢アートワーク

Tel : 090-4711-9248
e-mail: peijyu98@s4.cion.ne.jp
http://www.fujisawa-artwork.com

共催：神奈川県、湘南邸園文化祭連絡協議会